

タブレットで友達のを考え方をのぞいてみよう

単 元	べつべつに いっしょに	対象学年	3 年
ね ら い	タブレット PC を用いて、多様な考えを取り入れ、自分の思考の過程を表現する力を高める。		

1 準備するもの

教師：教師用タブレット PC，タブレット PC（8 台），場面絵

児童：筆記用具，ノート

2 学習のしかた

(1) 場面絵を用いて問題場面を把握する。

ともだちと 5 人で動物園に行きます。
1 人分の交通費は、バスで行くと 100 円，電車で行くと 80 円です。
5 人分の交通費の違いはいくらでしょう。

(2) 追究の段階

①自分の考えをノートにまとめる個人追究

- ・式や答えだけでなく、思考の過程の説明を絵や図、言葉を用いてノートに書かせる。
- ・説明がノートに書けた児童は、友達に説明する練習をする。

1 人分の違いは $100 - 80 = 20$ (円) だから
5 人分の違いは $20 \times 5 = 100$ (円)

バス 5 人分は $100 \times 5 = 500$ (円)
電車 5 人分は $80 \times 5 = 400$ (円)
違いは $500 - 400 = 100$ (円)

②グループで考えを発表し合い、タブレット PC に 1 つの考えにまとめる。

- ・グループになり、自分の考えを発表する。
- ・友達の分かりやすい説明、図、絵などを用いてタブレット PC にまとめる。



【タブレット PC に考えをまとめる】

③画面比較機能を用いて、他のグループの考え方を知る。

- ・タブレット特有の機能である“比較機能”を用いて、他のグループのまとめたノートと、自分たちがまとめたノートをタブレット PC の画面上で比較する。
(全グループ共有可能)
- ・他のグループの説明で、分かりやすかった部分を発表する。

④分かりやすかった説明を自分に取り入れ、グループで発表する。

- ・友達の説明を取り入れた場合は、「～さんの説明がよかったので」などと言葉を付け足して発表する。
- ・他のグループの図や絵を用いたい場合は、タブレットの共有機能を用いる。

(3) 振り返り

3 学習上の留意点

- ・タブレットPCありきの授業にならないために、教師や児童が話すときには話す人の方を見ながら聞くことをきまりとする。ただし、他のグループの説明を聞くときには、画面を見ながら聞いてもよいこととする。
- ・タブレットPCを使う子が限られないよう、使用のローテーションをしっかりと決める。また、使用していないときには、意見役としてまとめ作業にしっかりと携わる。
- ・タブレットPCには様々な機能があるが、使用してもよい機能を制限する。今回の授業であれば、黒ペンと赤ペン、図形の挿入のみに制限をした。学年に応じた制限が必要である。

4 学習の効果

- ・タブレットPCを用いることで、児童の意欲向上を図ることができる。普段はノートに書くことが苦手な子も積極的に授業に参加することができる。
- ・教材提示機と違い、目の前の画面で複数のノートを提示し、比較することができるため、それぞれのグループのよさを引き出し合うことで、かかわり合いが生まれる。
- ・拡大機能があるため、自分が注目したい部分を拡大することができる。
- ・教員用タブレットで全て操作できるため、学習規律も確保できる。



【グループでタブレットPCを見合う様子】